

USB デバイスの開放

【Windows XP の場合】

監視中に USB メモリーが装着されるとタスクトレイに fccWatcher による監視中のアイコンが表示されます。



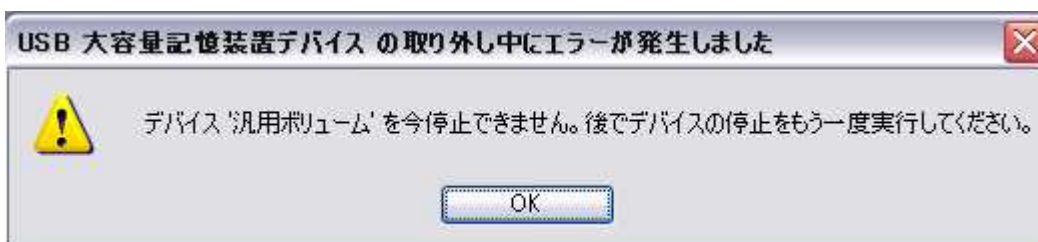
USB メモリーを取り外すためにタスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」のアイコン



をクリックし、「USB 大容量記憶装置デバイス-ドライブ(X:)を安全に取り外します」



をクリックしても、取り外しが出来ない旨のエラーメッセージが表示されます。



USB メモリーを操作後、十分に時間が経っていれば(遅延書き込みが完了するまでの時間で通常は画面上での完了後、数秒程度)そのまま取り外しても特に問題は無いと思われますが、確実に取り外す場合は、

fccWatcher のアイコン



を右クリックしてポップアップメニュー



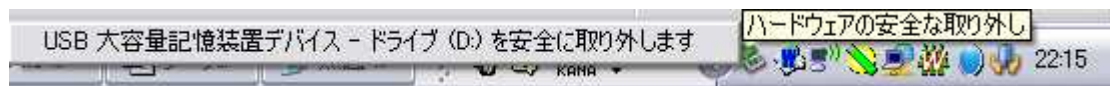
を表示し、取り外すドライブを指定し、そのドライブを停止させます。



その後、USB メモリーを取り外すためにタスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」のアイコン



をクリックし、「USB 大容量記憶装置デバイス-ドライブ(X:)を安全に取り外します」



をクリックして USB メモリーを取り外します。

【Windows 7 の場合】

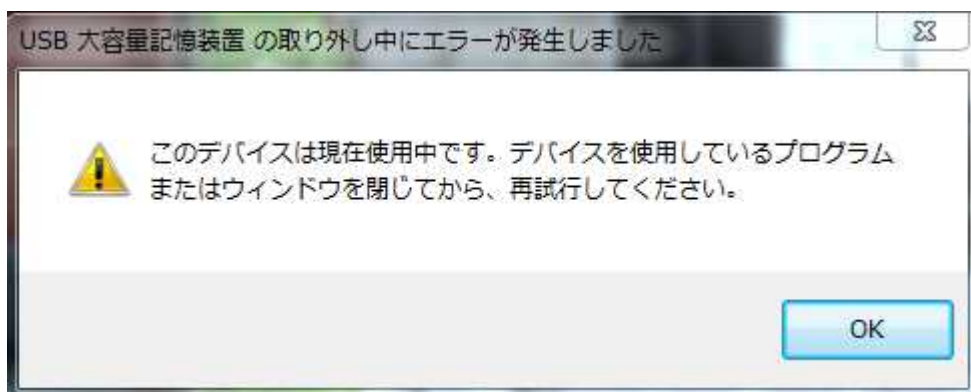
監視中にUSBメモリーが装着されるとタスクトレイの隠れているインジケータを表示するとfccWatcher による監視中のアイコンが表示されます。



USBメモリーを取り外すためにタスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」



を選択しても、取り外しが出来ない旨のエラーメッセージが表示されます。



USBメモリーを操作後、十分に時間が経っていれば(遅延書き込みが完了するまでの時間で通常は画面上での完了後、数秒程度)そのまま取り外しても特に問題は無いと思われますが、確実に取り外す場合は、

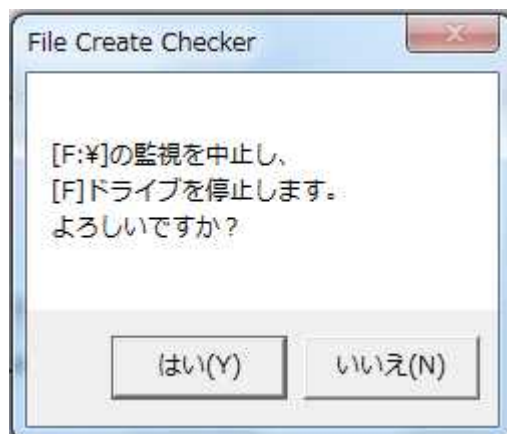
fccWatcher のアイコン



を右クリックしてポップアップメニュー



を表示し、取り外すドライブを指定し、そのドライブを停止させます。



Windows 7 の場合、ドライブ停止後は「ハードウェアの安全な取り外し」のアイコンが消滅し、それをクリックする必要がない場合があります。